

# ebe (美容室) naturi (洋菓子店)



老若男女から支持される人になりたいです！

広川町大字日吉 35-1  
☎ 070-8476-1147  
設立 / 令和6年7月  
事業内容 / 美容室・洋菓子販売  
代表 / 牛島清孝

## 創業のきっかけ

近所の床屋のお兄さんに憧れ、中学2年生ごろから美容師として将来独立したいと考えていました。専門学校を卒業後、10年間美容室で働きながら技術はもちろん、接客や経営スキルなども学んでいきました。そして一層独立心が芽生え、30歳という節目で起業することを決意し ebe (美容室) をオープンしました。隣には妻の夢でもあった「町の小さなお菓子屋さん」 naturi (洋菓子店) も構えました。

## 創業塾で学んだこと・創業補助金の活用

創業塾で創業を志す異業種の人たちとの交流を持てたことや、経営コンサルタントから直接アドバイスを受けたことなどは貴重な経験でした。それに加え、創業塾では事業計画を考える時間もあり、改めて自分自身と向き合うことができました。必要な機材に対して創業補助金も活用できたため、出費がかさむ独立当初には、本当にありがたかったです。

## 今後の展望

ebe と naturi、それぞれ今後の展開としては、来店されるお客さまとさらにより良い関係性を築いていき、末永く愛されるお店に育てていくことです。



を届けてください！

広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、広川町への思い、町に対する質問・意見・提案などをお送りください。イラストや写真も大歓迎です。

問企画課企画係  
☎ 0943-32-1196

**必須** 担当課からの回答を希望するか、希望しないか、以下のいずれかを○で囲んでください

希望する ・ 希望しない

名前 (回答を希望する場合は **必須**)  
フリガナ

住所 (回答を希望する場合は **必須**)  
〒 -

電話番号 (回答を希望する場合は **必須**)  
( ) -

年齢 **任意**

性別

郵便はがき

〒 834-8790

<受取人>  
日本郵便株式会社  
広川郵便局私書箱第3号

広川町長 行



今月号の良かった記事とその理由を教えてください

料金受取人払郵便

八女局承認

455

差出有効期限  
令和8年7月  
24日(切手不要)

# 偉人から学ぶ「最初の一步」

～ 大切なのは、小さなことでも実践していくこと ～

☎生涯学習課人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

## 記念すべき「最初の一步の日」

4月19日は、日本地図作りの最初の一步を踏み出した日であることから「最初の一步の日」や「地図の日」と呼ばれています。



▲伊能忠敬 肖像画

寛政12年（1800年）4月19日、天文学や地理学に精通していた伊能忠敬は日本地図製作のため、現在の北海道へ測量に出発しました。全国を歩いて測量し、文政4年（1821年）に正確な日本地図が完成。広川町にも文化9年（1812年）に測量に訪れた記録が残っています。「人間50年」といわれた時代に、55歳を過ぎて偉業の一步を踏み出し、約4万キロもの距離を自らの足で歩いて測量しました。「物事を始めるのに遅いということはない」を体現した人物です。

## まずは最初の一步を踏み出すところから

人権問題を考えるとき「自分一人だけが何かしても意味がない」などの消極的な意識から、最初の一步を踏み出すことにためらいがある人も少なくないようですが、すべての人権問題は、その「一步」をなくして解決に向かうことはありません。

本人に何の責任もないことで不平等や不利益を強いられる自由と平等が侵害されている「部落差別」。周囲の理解が得られずに社会の中で生きづらい思いを抱えている「性的マイノリティ」。さらには、インターネット上で誤った情報や差別・偏見を助長する内容の情報があふれるなど、解決しなければならぬ人権問題は身近なところで山積しています。

これらの人権問題を解消し、差別や偏見を無くすためには、小さなことでも実践していくことが大切です。一人が実践することで、少しずつですが必ず変わっていくはずですよ。

## 広川町人権・同和教育推進協議会

昭和47年（1972年）、広川町人権・同和教育推進協議会が発足し、本町としての人権・同和教育の第一歩を踏み出しました。

「広川町人権・同和教育基本方針」に従い、人権尊重と共生社会を実現するために、部落問題の解決を目指す同和教育を基盤にすえ、人権教育の確立に向けた研究と実践に努めています。

この協議会の活動の中から、学校教育部会の実践交流会を紹介します。

## 人権・同和教育実践交流会

2月14日（金）、広川町の小・中学校の先生が参加し、「第41回広川町人権・同和教育実践交流会」が行われました。

この交流会は「ささやかな取り組みでも、自分たち自身の実践を出し合って交流し、深め合っていこう」という思いから、昭和59年（1984年）にスタートしました。学

びの場として、今後の実践に「つなぐ」「深める」「つながる」ことが期待されています。

今回の交流会では、4つの分科会に分かれて4本のレポートが報告され、多くの意見交流が行われました。

### 【第1分科会】

「認め合える学級をめざして」

### 【第2分科会】

「子どもの背景を知ろうとすることの大切さ」

### 【第3分科会】

「友だちとの関わりの中で感じてほしいこと」

### 【第4分科会】

「相手を『知る』『つなげる』ことの大切さ」



▲実践交流会 分科会の様子